

# 充実した自宅学習を進めるためのデジタルコンテンツの紹介⑨

## 文部科学省 「子供の読書キャンペーン～きみの一冊をさがそう～」

### ●子供の読書キャンペーン～きみの一冊をさがそう～

このコーナーではスポーツ庁長官、文化庁長官をはじめとした方々のおすすめする本や、読書関係団体等の取組などを紹介します。

おすすめ本   リンク集   子ども読書の日



文部科学省の HP で、様々な著名人のおすすめ本の紹介がされています。

HP では詳しくおすすめ理由についてかかれています。気になる本が見つかるかもしれません。

梶田隆章（ノーベル物理学賞受賞者）



山崎直子（宇宙飛行士）



童門冬二（作家）



とよたかずひこ（絵本作家）



撮影：佐々木隆二



秋田喜代美（東京大学教育学部長）



鈴木大地（スポーツ庁長官）



宮田亮平（文化庁長官）



古坂大魔王（文部科学省 クロス）



# 中学生向けの本の紹介 ～ブックス雨だれ調べ～

2019年みんなが読んだベスト本10冊ランキング

© 2020.01.02



## 第1位：カラフル



第1位は森絵都さんの『カラフル』でした。

中学生へのおすめを聞かれて絞れない時、わたしがまずすすめるのがこの本。この本を置いていない中学校図書館はないと思うので（ウチに置いていないという学校はすぐに購入をおすすめします）、ここで購入していただいた方以上に、たくさんの方に手に取って読んでもらえたのではないかと思います。

書き出しから引き込まれる展開とさっくり読めるリズム感があり、あまり小説は得意じゃないという人にもおすすめです。

## 第2位：5分後に意外な結末



朝読書でも人気のある5分後シリーズ。5分で読めるわかりやすさと、オチのある展開が楽しめるショートショートの人気火付け役ともなったシリーズです。ふだんはあまり本を読まない人や長い本は苦手という人にも、どこから読んでも楽しめるショートショートはおすすめです。シリーズも次々刊行されています。好きなところから読んでみて。

## 第3位：きみの友だち



中学生を主人公にした小説を数多く手がけている人気作家・重松清さんの小説の中から、“友だち”をテーマにした連作短編です。小学校高学年から読めます。そして、大人の方にもぜひ読んで欲しい心になにかを投げかけられるような物語です。

## 第4位：受験のシンデレラ

精神科医であり、東大合格のためのゼミナールを運営するなど受験アドバイザーとしても活躍している和田秀樹さんが受験のノウハウをつめこんだ受験小説です。受験生におすすめの本としても紹介しています。

## 第5位：あと少し、もう少し

駅伝小説といえば三浦しんさんの『風が強く吹いている』も人気ですが、中学生には瀬尾まいこさんの『あと少し、もう少し』もおすすめ。悩みを抱える閉塞感と、走るシーンの爽快感が味わえます。

## 第6位：浜村渚の計算ノート

天才数学者・高木源一郎VS数学大好き少女・浜村渚（中2）の数学対決が面白い浜村渚の計算ノートシリーズ。著者のデビュー作で、現在10作以上もある人気シリーズ。数学がもっと身近になる謎解き数学ミステリーです。